

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	道路パトロール事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	土木課	係	維持管理係	評価票作成者	土木課長補佐 小川 泰則
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	道路	コード	3 1 1
	項	道路・交通			単位施策(中)	道路の維持管理	コード	3 1 1 3
					単位施策(小)	危険箇所早期発見	コード	3 1 1 3 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市道 1, 2 9 3 路線 延長 3 4 8 . 0 9 2 km		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	良好な市道の状況を保つ。			
1-5 事務事業の内容	道路パトロールの実施により不良箇所の早期発見に努める。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取り組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	生活道路のパトロールを重点的に実施した。直営で実施できることは、その場で行った。	財政状況が厳しい中で、予算を有効に活用する。		個人本意の要望が強くなった。	
	平成19年度	路面の経年劣化による補修を重点的に実施した。直営で実施できることは、その場で行った。	"		個人意識の多様化に伴う対応に迫られた。	
	平成20年度	"	"		"	
	平成21年度	"	"		"	
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	不具合・危険箇所発見件数(件)		200(件)	150(件)	道路パトロールによる不具合・危険箇所発見件数の合計。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a(時間)	416	416	416	416					
	直接事業費 b(千円)	418	567	460	168					
	人件費 c(千円)	1,331	1,331	1,331	1,331					
	合計コスト d(b+c)(千円)	1,749	1,898	1,791	1,499					
単位コスト d/a(千円)	道路パトロール1時間当たり 1.0	道路パトロール1時間当たり 1.4	道路パトロール1時間当たり 4.3	道路パトロール1時間当たり 3.6	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明

→ 維持予算の内、直営で実施した補修作業の原材料費を計上した。
 活動実績=週4時間×52週×2人
 人件費はパトロール常務時間を計上した。 人件費=416時間×3.2(千円)/時間

2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指標対応実績(件)	199	187	182	188					
後期目標値に対する達成度(%)		59.2	69.2	73.3	68.3						

H16現状値：270、(270 - 現年度実績) ÷ (270 - 後期目標値)

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)	単年度担当課評価	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		A	A	A	A						

4段階評価結果
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準
 必要性(必要な事務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
		平成18年度	交通量の増大に伴い、路面の痛みも早く、危険箇所の早期発見が必要である。	道路パトロールの方法やルートを再検討する。
平成19年度		〃	重点地区のパトロールを強化する。	〃
平成20年度		〃	月間で重点項目を掲げパトロールする。	〃
平成21年度		〃	〃	〃
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果	結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	A	継続して事業を進めること。
平成19年度	A	継続して事業を進めること。
平成20年度	A	継続して事業を進めること。
平成21年度	A	継続して事業を進めること。
平成22年度		
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		